

## 年頭訓示



**組織人として自覚を持った行動を！  
個々の能力発揮で組合員の付託に応える**

山本武代表理事組合長は、平成 25 年の仕事始めにあたり、本所職員を前に年頭の訓示を述べた。また、その他の事業場には、書面をもって、その内容を伝えた。

### 訓示の骨子

我々は、将来を見据え情報を掌握し、組合員の経営環境を正しく理解するため、情報共有を図り、お互いの信頼関係を保ち、常に組織の一員であることの認識を深め、日常の業務を怠ることなく、健全な職場環境に努めてほしい。

また、それぞれ目標を持っていることと思うが、成果の尺度は個々により異なる。更に進化した目標を掲げ、実行することで物事は成就することから、職員各位には個々の能力を最大限に発揮し、組合員の付託に応えられるよう次の事項の実践を期待する。

#### ①コンプライアンス方針の実践

広略のコンプライアンス方針に定める「経営理念」、「行動規範」を再認識し、組合員の相互理解を深める努力をされたい。

#### ②生乳生産基盤の確保

生乳生産の計画未達が予想される中、後継牛確保を如何に進めて行くか、課題が多い。組合員の経営安定を考慮する中で、組合の組織運営上においても対策を講じられたい。

#### ③経営支援組合員の徹底指導

自らの経営状況を掌握されていない組合員が意外と多い。資産の推移や固

#### ④TMRセンター統合の実現

定資産の動態について、日常の簿記帳が必須であることから、徹底した指導を喚起されたい。

#### ⑤効率的かつ確実な事務処理

製造飼料の施設の老朽化による更新と低廉で高品質の発酵飼料の製造を検討しているが、組合員の理解醸成を図り、適切な投資計画をもって構想を実現されたい。

#### ⑥効率的かつ確実な事務処理

今年度の事業計画に加え、第六次中期三か年計画の再検証を行い、時間軸に沿った効率の良い、確かな事務処理を求める。



### お悔やみ(人事異動)



庄原TMRセンター主任 清水満職員が、昨年 12 月 26 日、57 歳で逝去しました。同職員は、広略の被合併組合「備北酪農業協同組合」に就職し、全国に先駆けてのTMRセンターの操業・稼働に携わり、自給飼料を利用した安くて良い餌の利用を関係酪農家に呼びかけ、酪農経営の安定化にむけて努力しました。告別式では職員を代表して西中晃参事(広略)が「我々は、清水満職員の業績と意思をしっかりと引き継ぎ、日々の仕事に邁進することを誓います」と弔事を述べました。

謹んでお悔やみを申し上げますと共に、安らかにお眠り下さい。

■人事異動 清水 満(しみず みつる) 平成 24 年 12 月 26 日付け退職